

第1回

# 栗野盛光研究会 入ゼミ説明会

～マーケットデザイン～

## 研究内容

栗野盛光研究会では、広い意味での市場（マーケット）や社会経済制度のデザインを研究しています。インセンティブ、効率性、公平性の観点から、ゲーム理論やメカニズムデザインを使って、どのような制度が良いのかを検討します。

## 研究会の目標

経済制度を見る目を養い、デザインする能力を身に付けることを目標とします。そのために、数学、ゲーム理論やメカニズムデザイン等を学習します。



## 1. 活動内容について

教科書を輪読し、月に1~2回ほど自分の担当部分を報告します。本年度は、「Market Design(Guillaume Haeringer)」「経済学・経営学のための数学(岡田章)」を輪読しています。また、横浜国立大学の熊野ゼミと、ブロックチェーンによる新しいビジネス創造を目的として1~2か月に1回インゼミを行っています。

## 2. 年間の行事<sup>1</sup>

- 4月 新歓コンパ
- 5月 ソフトボール大会
- 6月 OB・OG会
- 7月 築地市場見学会
- 9月 合宿

## 3. ゼミ必修授業

火曜2限のマイクロ経済学中級 1a1b(津曲先生担当)と、水曜2限のマイクロ経済学中級 2a(石橋先生担当)2b(玉田先生担当)を履修することが推奨されています。

## 4. サブゼミやパートゼミ

栗野ゼミのみで行うものは基本的には有りません。その代わりに、横国とのインゼミに力を入れています。また、自分の興味があるテーマについて、先生と相談して少人数の勉強会を開いて頂けることが有ります。

## 5. 選考基準

A日程ではマイクロ経済学の試験と先生との面接、B日程では先生との面接のみが予定されています。試験は武隈ミクロから出題されます。また、面接の際には成績表を持参してください。

## 6. 今後の予定

日吉での教授説明会と、2回のゼミ説明会があります。オープンゼミを行うかどうかは未定ですが、決まり次第報告させていただきます。

## 7. 連絡先等 (ゼミ HP、Twitter、先生の HP)

<https://keiokurinoseminar.wixsite.com/kurinozemi>

TwitterID: @econ\_kurino

<https://sites.google.com/site/mkurino/japanese-site>

## 8. ゼミに関するアンケート

### ・なぜ栗野ゼミを志望したのですか？

マーケットデザインという響きがかっこよかった/ ミクロを応用した分野について勉強したかった/ マーケットデザインという分野に興味があった/ 理論だけで終わるのではなく実践まで考えてみたかったため、マーケットデザインを研究している栗野先生のゼミを選んだ/ まだ日本であまり専門家が少ない分野だと聞いて内容も面白そうだったから。栗野さんも人が良さそうだった。他に考えていた候補のゼミに欠点が見つかったことも理由の一つ/ 新規だから/ 自分の勉強してみたいことに近かったから入ゼミで先生のスピーチを聞いて/ 研究内容に興味があったため。

### ・栗野ゼミの良いところは何だと思えますか？

自由な雰囲気、先生の優しさ、少人数だから先生との距離が近い、付かず離れずの距離(笑)/柔軟な対応。ゼミの内容や方法も生徒に合わせて変えてくれる。また、課外活動や実際に社会で起きていることに対してのアプローチも行なっている点/居心地がよい。先生がびっくりするほど穏やかで優しい/栗野先生が学生思いで親切丁寧/理論と現実を両方しっかり考えているところ/ゆるいところ/人が良い。いい人しかいない。君はたまに何言ってるか分からない/ゼミ全体の雰囲気が良いところ

### ・栗野先生は、どのような雰囲気ですか？

優しさのかたまり、穏やか、学生のニーズや雰囲気に合わせてくれる、面接の時に「受けてくれた人全員合格にしたい。でもそれはできない。これはほんとに全員に言ってるんだけど、ここで落ちてでも頑張っていれば必ずだれか見てくれている人がいるから」て言われて泣くかと思った/九州男児/穏やかで優しい、実はお酒大好きでおしゃべり好き/めっちゃええ人/死ぬほど優しい、優しすぎて自分の無能さに悲しくなる/iPadの壁紙がかわいい/優しい/いい人。生徒のために懇切丁寧。たまにテキトー/優しい先生

### ・その他

試験勉強は、2週間前から始める人がほとんどでした。A方式とB方式の人の割合は3:1でした。

<sup>1</sup> あくまで現時点で確定しているもののみ